同窓会で真の赤川先生を知る

M①　山村　裕

私たちが専門課程の時、第 5 講座：熱力学及び熱機関に於いて、赤川先生は助手として実習・研究を、中西先生は助教授として講義を専ら担当されていた。赤川先生は非常に温和かつ寡黙であり（当時はそう思っていた）、60 数年も前のことだから、第 5 講座所属の同輩は皆他界しているうえに、存命中の同輩も在学中の先生との想い出が全く出て来ない。先生には、平成 7 年に龍谷大学での人生第二の教授職を終えられた 3 年後の平成 10 年から、縁あって毎年開催の M①同窓会に出席をいただいた。特に、平成 15 年 11 月 29 日のルミナス神戸 2 で開催の同窓会は、先生お一人だけが出席された。それまでの会合では自ら進んで話をされなかったのに、「実を云うと、僕の嫁さんは君たちと同期の者だよ」と顔を赤らめながら切り出された。その後、話が弾んだことは云うまでもない。在学中の先生との垣根が取り払われた感じがして嬉しかった。垣根を作っていたのは、むしろ私たちであったのかも知れない。同窓会に出席される日の平成 19 年 11 月 26 日の朝、奥様からの電話があり病気で倒れたとの連絡があった。それっきり、以後の同窓会に出席されなかった。その後、回復されたとのことであるが、M①生にとって、退職してから残り少ない人生を先生と付き合ったと云っても過言でない。もう少しでも教えを請えたらと思っている。享年 91 歳。ご冥福をお祈り致します。

（ 終 ）

追悼文受付日：平成 28 年（2016 年）03 月 08 日　赤川先生－9